



安齋正弘

福島県生まれ。木耐協設立当初から技術顧問として組合員の指導や技術開発を行う。2007年国土交通大臣表彰。趣味は社交ダンス

◎今号のテーマ

一般診断法

【保有する耐力】

についての考察

「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」の質問・回答集の確認

この原稿を書いている段階では、まだ5月だというのに暑すぎて自転車乗りもままならない。日除けに長袖シャツのいでたちを思うと引けてしまいますよ。朝夕の涼しいうちにと妻は言うけれど、急な生活リズムの変更はなかなか…。(一時の「腰痛・左足の不具合」から脱して今は何とか不自由なく生活できているのでノンキなこと言ってしまうのかな? 毎晩リハビリのストレッチ等は続いています。)

さあ、今月もこの回答集をめぐり、内容・趣旨を確認し日々の実務に活かして参りましょう。

日本建築防災協会に掲載されている文章は、下記ホームページアドレスから直接ご覧下さい。
(注:紙面の都合HPに掲載されている文章から、趣旨を外さない程度に表現を変えています。)

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/wquest.html>

開口部の評価の考え方について、
詳細な規定があればご教授下さい。

Q71

A 本「質問・回答集」の25ページに示してありますのでご参照ください。

考察

色々な組合せ例についての記述がありますので良くご覧になって下さい。注意すべきは「少なくとも片側には耐力評価できる無開口壁があること」が前提だということ。もう一つ、「一般」と「精密1」診断とでは評価の仕方が異なる場合もあること。

図1 窓型開口



図2 掃き出し型開口



方法1で窓型開口と
掃き出し開口の

Q69

区別の判断基準は?

窓高が1200を超え、
垂れ壁・腰壁がある場合も
掃き出し開口とするのですか?

A 開口高が1200を超えた場合には、基本的に「安全側」となる掃き出し開口として評価してください。

考察

これについては特段解説を加えることもございません。

上下に有効な
横架材が無い場合、

Q70

有開口壁として
評価しないとして宜しいか?

A 上下に横架材が無い場合は壁として評価できません。

考察

具体的なイメージが湧かないのですが、そもそも上下に横架材を有しない「有開口」壁ってあるのでしょうか? どんな壁でしょうか? 論外の壁かも。

外壁がモルタル仕上で戸袋部分の下地が「単なる合板」
の場合は面材部において耐力無しで宜しいでしょうか?

Q72

A 耐力評価できるか実況に応じて適切に判断して下さい。

考察

木耐協が早くから取り組んできた問題です。実際の現場ではモルタル同等の耐力評価できない面材(厚さが不足している等)が張られている場合が多いです。戸袋裏が外壁モルタルの強度に満たないもので施工されている場合には、診断者判断で耐力評価する必要があるという事になります。